

70 NEWS

life with sTone
～ 石の温もりを、暮らしの中に～

みなさんこんにちは！今号が皆様のお手元に届くころには、一年越しのオリンピック東京2020が開催されていることでしょう。平和の祭典としてだけでなく、コロナから立ち直りつつある世界中に、この元気が届くように願うばかりです。石.NEWSも創刊よりお陰様で60号を迎えることができました。今後も業界の進歩発展に貢献できるよう精進していきますので、引き続きご愛顧頂けますようお願いいたします。

TOPIC 1

エアーツールを故障から守る

当社が業界初のエアポリッシャーWS-5を発売したのが、昭和43年です。それ以降、石の研磨にはエアーツールが使用され続けています。最近では粉塵対策として人造大理石分野でも、エアーツールによる湿式研磨が増えてきています。

最新のエアーツールは、モーターの品質が大きく改善されており、正しく使用して頂きますと以前よりも快適に且つ、長寿命で使用することができます。今回はそんな便利なエアーツールを故障から防ぐポイントをご紹介します。

1. フィルターの装着と日々のメンテナンス



故障した商品を分解検品すると、ベアリングに錆が発生しているものが多くあります。ベアリングが錆びることで、ギアに負担がかかり故障を発生させます。

錆の原因はコンプレッサーの圧縮空気内に含まれるドレン(水)・鉄粉・埃などです。特にドレンやコンプレッサー内部の鉄粉(錆)が、ベアリングにダメージ(腐食)を与え、ギアの故障につながります。

これを防ぐには、エアフィルターの装着が必要です。フィルターを装着することで水分だけでなく鉄粉などの異物を防ぐことができ、エアーツールの故障原因を大きく軽減いたします。据え置き型のエア

ドライヤーやポータブル型のフィルターまで現場や使用環境に応じたフィルターを選択してご使用ください。

また、サビの対策として日々の作業終了後に、①水が無くなるまで空回転させる(湿式エアーツールの場合)、②エアースーツ内に注油する この2つのメンテナンスを必ず実施してください。

2. コンプレッサーからの圧縮空気の圧力の管理

エアーツールにはそれぞれ適正な空気圧が設定されています。適正な空気圧により、使用する研削・研磨工具に最適な回転を得ることができます。この空気圧が低すぎると、十分な回転とトルクを得ることができず、研削・研磨能力を得ることができず、作業効率が悪くなります。反対に空気圧が高すぎると、回転数が高くなり、研削・研磨工具の能力を十分に発揮できなくなると同時に、エアーツールに想定以上の負担をかけることになり故障の原因となります。特に最新のモーター採用のWS-6の場合、WS-5と同じ空気圧で使用すると高回転(約8000rpm)となり故障の原因となりますので、注意が必要です。

空気圧の調整のためにも、レギュレーターの使用をお勧め致します。取付はコンプレッサーとエアーツールの間のホースに接続するだけです。フィルターをついた1台2役のフィルターレギュレーターがお勧めです。

3. 使用商品

エアーツールは、決められた商品しか使用できません。日本で発売されているエアポリッシャーの場合ですと、使用可能な大きさは80φと100φまでです。必ず取扱説明書を読んで頂き、エアーツールに適した商品を選択してください。

また、古くなったバックパッドなど真円に回転しない(ぶれる)商品は使用しないでください。ギアに負担がかかり故障の原因となります。

エアーツールを長く安全・安心してご使用いただくためにも、適正な使用方法のもとご使用頂く事をお勧めします。



エアドライヤー



フィルター



フィルターレギュレーター

TOPIC 2

研磨盤の硬度



石を切断・研磨するのは、ダイヤモンドの砥粒です。ダイヤモンドだけで固まることはできないため固めるための結合剤が必要となります。この結合剤がいわゆるボンドです。このボンド(結合剤)は、研削・研磨能力を大きく作用するため、各ダイヤモンドメーカーは独自に配合を工夫されています。一概に石材と言っても、花崗岩・安山岩・大理石・粘板岩・石灰岩・砂岩・凝灰岩があり、それぞれに適応した最適な硬度が求められます。

各ダイヤモンド研磨盤メーカーの、各種石材に対応する基本的な硬度をまとめてみましたので、研磨作業時にご参考ください。

あくまでも基本的な一例となりますので、石種・使用機械・加圧・水量・回転などを考慮されたうえで選定してください。下表はあくまでも石種に対応した表記となり、各メーカーの硬度が同等であることを表示しているではありません。

また紙面の都合により掲載できなかった研磨盤もございますので、当社のWEBサイト 石のコト.comをご覧ください。か、お付き合いのある販売店にお問い合わせください。

各社レジンボンド対応硬度の一例(五十音順)

代表的製品	メーカー	標準硬度	切れ味重視 比較的硬い石	ライフ重視 比較的軟らかい石	大理石
みやびレジン	旭ダイヤモンド工業	E50	E60	E40	E60
サミット	三和研磨工業	M5	M6	M4	M6
レジン研磨BG	大栄研磨材工業	AS	S	D6	S

TOPIC 3

焼却炉

生活・仕事・作業において毎日ゴミは排出されます。紙くず・木くず・廃プラ、最近では寺院様においてもお焚き上げなどで煙の心配から焼却炉の導入が増えております。作業内容や設置現場また環境に配慮し届け出が不要な安全・安心な焼却炉も多数ございますのでお問い合わせください。

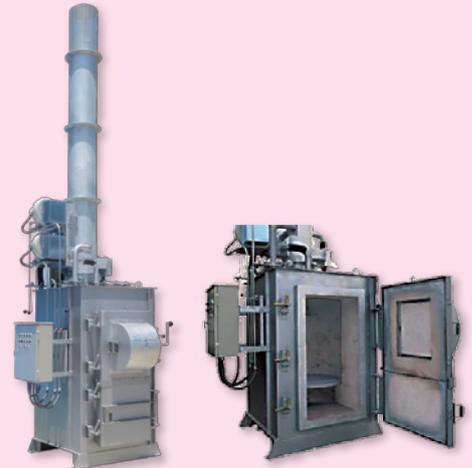
SPZ モデル

大きな紙くず・木くずなどに対応した焼却炉。全面開放扉により古くなった塔婆も簡単に投入できます。



SPR モデル

廃プラスチックに対応した耐火式焼却炉。焼却効率を高めるロストルを装備し、高い消煙効果と集塵能力を発揮します。



藤栄株式会社

大阪本社 〒578-0944 大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
東部営業所 〒327-0817 栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<http://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEI ドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jp へ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。(右側のQRコードで、上記のメールが開きます)

